

静岡新聞

12月28日
水曜日

〒422-8033
静岡市駿河区登呂3-1-1
静岡新聞社
電話(054)282-1111

月決め2,900円 本誌2,585円
消費税215円
1部120円(消費税込み)

◎静岡新聞社2016
浜松総局 浜松市中区旭町11-1
プレスタワー内
電話(053)455-3355
東部総局 沼津市魚町1
サンフロント内
電話(055)962-0380

福徳万倍へ、特別な三日間
平成29年
2月3日(金) 4日(土) 5日(日)
毘沙門天大祭
www.fuji-bisamonテン.com
●JR吉原駅下車・徒歩約10分

渡譲一括し名称残しまつ

ヤマハ、HMMI合意 全ての事業を継続

ヤマハは27日、一般営業を25日で終了した掛川市清水の「ヤマハリゾートつま恋」の不動産と商標の譲渡について、ホテルマネージメントインターナショナル(HMI)ホテルグループ、本社・神戸市)と基本合意を締結した。譲渡予定は2017年3月31日。HMIは4月1日から、「つま恋」の名称を引き継ぎ、「つま恋リゾート」の名称(さいのきと)として営業を始める。

ヤマハによると、譲渡と、面積140坪に及ぶ資産は「つま恋」ふ土地、宿泊・飲食・温泉入浴・スポーツ施の施設に関する商標

基本合意段階では、HMIはつま恋の全ての事業を継続するほか、掛川市が目指す20年東京五輪などのキャ

ンブ誘致や掛川・新茶マラソン、ジュビロ磐田サッカー学校の活

用する方針。近年の宿

泊客はファミリー層が中心だったが、価格を抑えながら「海外からの訪日旅行者や国内企業の研修など利用客層の拡大を図る(同社)という。

ヤマハは、国内音楽界で歴史を刻んだ「つま恋」の一括譲渡、「音

楽とスポーツ」をテーマにした総合リゾート施設の維持向上、「つま恋」の名称の継続使用の3点などを条件に、譲渡先を探してきた。複数企業が参加した入札を経て、浜松市内のホテルを含め、再生の実績がある「こと

を重視し、交渉相手としてHMIを選んだ。

ブランド継承を中田卓也ヤマハ社長の話「つま恋」ブランドと、施設全体の継続を前提に譲渡の基本合意を結ぶことができた。詳細の交渉はこれからだが、お客さまに愛され続け、地域にも喜ばれる形で資産を引き継いでいたことが

掛川市は、国内音楽界で歴史を刻んだ「つま恋」の一括譲渡、「音

ホテルマネージメントインターナショナルへの譲渡で基本合意したヤマハリゾートつま恋は9月、掛川市清水(本社へ「シエリコ1号」から



Q HMIホテルグループは1998年に設立したホテル運営会社で、正式名称は「ホテルマネージメントインターナショナル」。神戸市に本社を置き、ホテルや旅館、スポーツ施設などを全国50カ所以上で展開する。経営に陥ったホテルを再建する目的で積極的に投資してきた。2014年2月には、会社更生法の適用を受けた企業からランドホテル(浜松市)を引き継いだ。このほか県内でホテルクラウンパレス松(同、旧浜松名鉄ホテル)、ホテルラヴィエ川良(伊東市)、仙家(伊豆の国市)を運営する。

掛川市の掛川・新茶マラソン実行委員会は27日夜、同市内で会合を開いた。メイン会場のつま恋についてヤマハとホテルマネージメントインターナショナル(HMI)ホテルグループが譲渡の基本合意をしたのを受

一層注力していく」との方針を示した。会合では大会会長の松井三郎市長が冒頭で経緯を説明。「準備期間は短い、開催できるよさげなみなさんの決断と協力をお願いしたい」と語り、全会一致で承認した。

実行委は今後、急ピッチで開催準備を進める。雑賀祥宣実行委員長は「開催は難しいがこの1カ月間をもちながら、無事できることになってよかった。素晴らしい大会になるよう力を尽くしたい」と話した。

掛川市は、国内音楽界で歴史を刻んだ「つま恋」の一括譲渡、「音

予定通り4月9日

開始 掛川・新茶マラソン実行委員会は28日正午から、インターネットを通じて2017年4月9日の第12回大会のエントリーの受け付けを始める。フルマラソン(42・195キロ、参加料6千円)のほか5種目を行う予定。種目と定員に達した時点で締め切る。フルマラソンは新緑が芽吹く市内の各地を、フルーツや戦国汁のモチモチを楽しみながら駆け抜ける。インターネットでのエントリーは「RUNTIES」(http://runnet.jp)で2017年2月27日まで。振替用紙での応募もある。問い合わせは同実行委員会(電話0537(24)6664)または(電話0537(24)9781)へ。

掛川・新茶マラソン開催決定

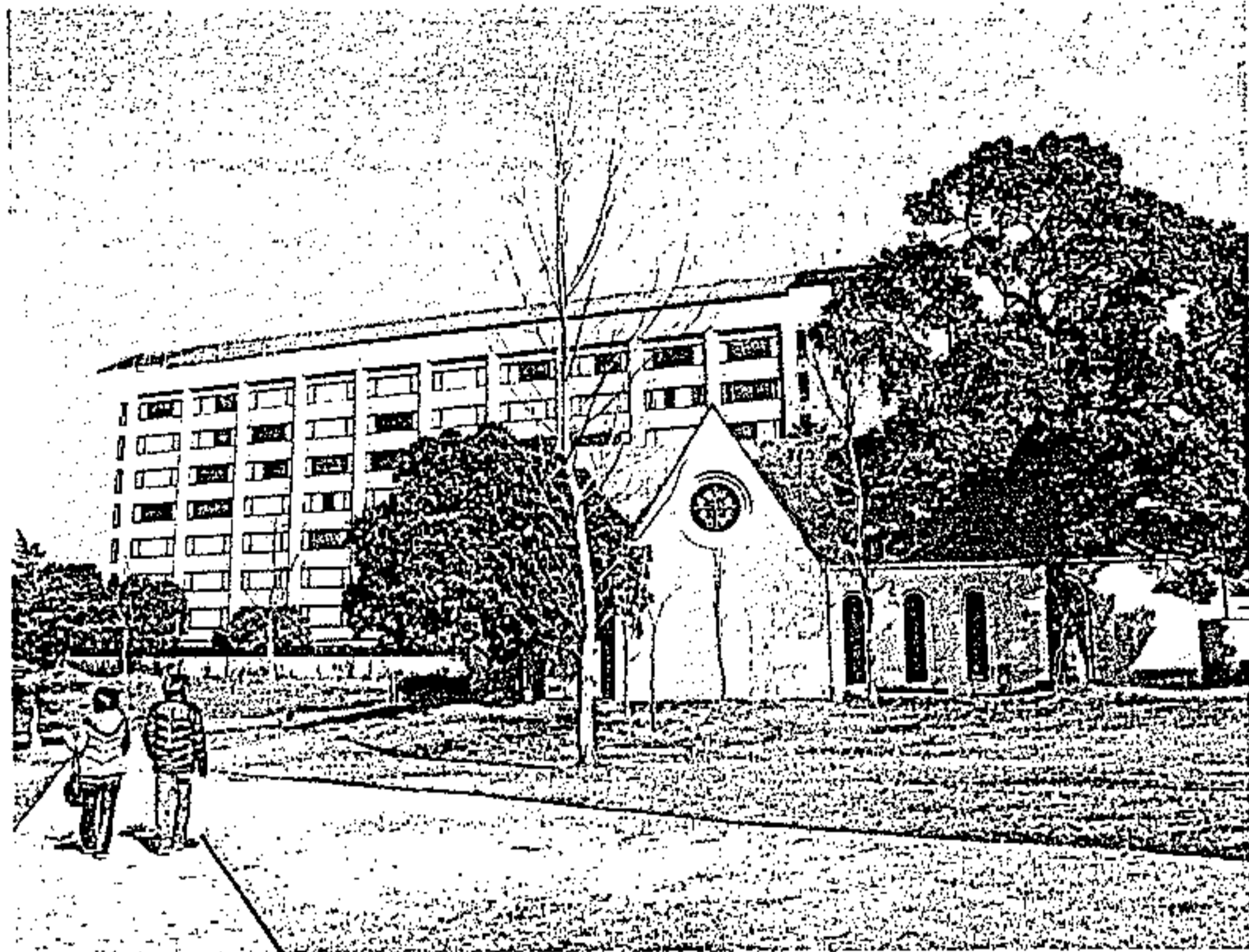
「満額回答」地元へ安堵

「慕われた施設」価値痛感 積極活用、応援決意

つま恋

再出発

《上》



HMIが再建に乗り出すつま恋。集客力アップに向け地元の支援、活用策も問われる=25日、掛川市満水

本合意が成立した27日、報道陣の取材に応じた松井三郎市長は開口一番で喜びを語った。

「待ち望んでいた報告。大変うれしく思っている」。ヤマハリゾール（HMIホテルグループ）つま恋（掛川市満水）への譲渡の基

「フォークソングの聖地」「スポーツ拠点」としての足跡に光が当たり、地元は改めてその価値の大きさを痛感させられた。

従来の形態での運営継続、分割譲渡はしない、名称の存続。市がヤマハに申し入れていた要望は、地域財産損失への危機感の表れでもあった。それだけに、満額回答の姿勢で名乗りを上げたHMIに「感謝したい」と松井市長。HMIとの信頼関係の構築にも意欲を見せた。

市中部の商業関係者らでつくる掛川おかみさん会の山本和子会長（56）は「慣れ親しんだ地元企業のヤマハから（主体が）変わることに一抹のさみしさはある」と話しながらも、「閉鎖になればイメージの悪化につながる。間を置かず運営されるのはよかった」と胸をなで下ろした。

「お客さまの願いかなった」

HMIへの譲渡について、つま恋の関係者には27日午後の発表前に説明が行われた。ヤマハリゾールの安藤貞敏社長が施設名称の継続やアルバイトを含む従業員の再雇用などHMIの方針を伝えた。

業者もあり、地元経済にとって影響の大きい施設。全国から人が訪れるように集客力を高めてもらいたい」と述べた上で、「市内の産業界を挙げて（HMIの運営を）応援するような態勢をとりたい」と意気込む。

掛川観光協会の平野正俊会長（62）は「あるのが当たり前になっていった」と長い時間の中でつま恋と地元の関係が希薄になっていったと

「素晴らしい資源をこれまで以上に積極的に活用するべき」と訴え、つま恋再生のためには「市民も緊張感を持たないといけない」と言葉に力を込めた。

一般営業終了から2日。42年の歴史を刻んだ総合リゾート施設つま恋がHMIの下で新たな一歩を踏み出すことが決まった。地元への思いや展望を探った。

川勝知事
いい形で継承

「ヤマハリゾールつま恋」の譲渡が基本合意したことについて、川勝平太知事は27日の定例記者会見で「HMIホテルグループの比良電虎社長は日本を良く知る国際派で、素晴らしい人。いい形で継承できると喜んでい

25日の一般営業最終日に多くの利用者からつま恋の存続を望む声を聞いたというコンシエルジュの伊藤えつ子さん（61）は、「お客さまの願いがかなったことと安心して」と穏やかな表情。自身は退職を決意しているが、「次につま恋に来たときに（今の）スタッフはいい形で継承していただき、これからも訪れる皆さんが楽しく、幸せな場所であれば」と話した。



つま恋 HMI に譲渡

ヤマハ基本合意、名称存続

12/28 中田

ヤマハは二十七日、完全子会社が運営する複合リゾート施設「ヤマハリゾートつま恋」（掛川市）の不動産と商標権を、全国でホテルを展開する「ホテルマネーシメントインターナショナル」（HMIホテルグループ、神戸市）に譲渡することで基本合意したと発表した。HMIは来年四月一日から「つま恋リゾート彩の郷」の名称で営業する。譲渡額は今後詰め、二月末までに正式契約を結ぶ。— 関連◎◎面

来年4月から営業へ

HMIが、つま恋の名称の継続や一括譲渡などの条件を受け入れた。従業員百十九人の希望者は雇用する。来年一月から施設の改修に着手し、二月下旬に四

月以降の具体的な事業計画を発表する。三月一日から新規の宿泊予約を受け付ける。つま恋は一九七四（昭和四十九）年に開業し、百四

十万平方米の敷地にホテル（二百三十二室）や音楽施設、スポーツ施設などを備える。吉田拓郎さんやかぐや姫のコンサートが開かれて「フォーカソングの聖地」として親しまれたが、近年は利用者が減少し赤字が続いていた。一般営業は二十五日に終了し、来年三月まで事前予約の団体客のみ営業している。

ヤマハの中田卓也社長は「お客さまに愛され、地域の皆さまにも喜ばれる形で『つま恋』の資産を引き継いでいただきたい」。HMIは「掛川市が目指してい

る東京五輪やラグビー・ワールドカップ日本大会のキャンプ誘致に協力するほ

か、地域の交流の場としていっそう注力していきたい」とコメントした。

今までに発展

川勝平太知事の話 つま恋は今まで以上に発展するだろう。（HMIの比良竜虎）ひら・りゅうこ社長

は、商才にたけた最高の方。静岡県に投資してくれて非常にうれしい。つま恋は県に必要な施設。良い形で継承されることになり、喜んでいる。

精神を引き継いで

松井三郎・掛川市長の話

HMIホテルグループ 正式名称はホテルマネーシメントインターナショナル。神戸市に本社を置き、全国の52カ所ホテル・旅館をはじめ、スポーツ、カルチャー施設6カ所を展開。経営難に陥ったホテルの再建実績があり、浜松市内では「グランドホテル浜松」「ホテルクラウンパレス浜松」を運営する。1998年10月設立。売上高は約405億円。従業員数は約3300人。

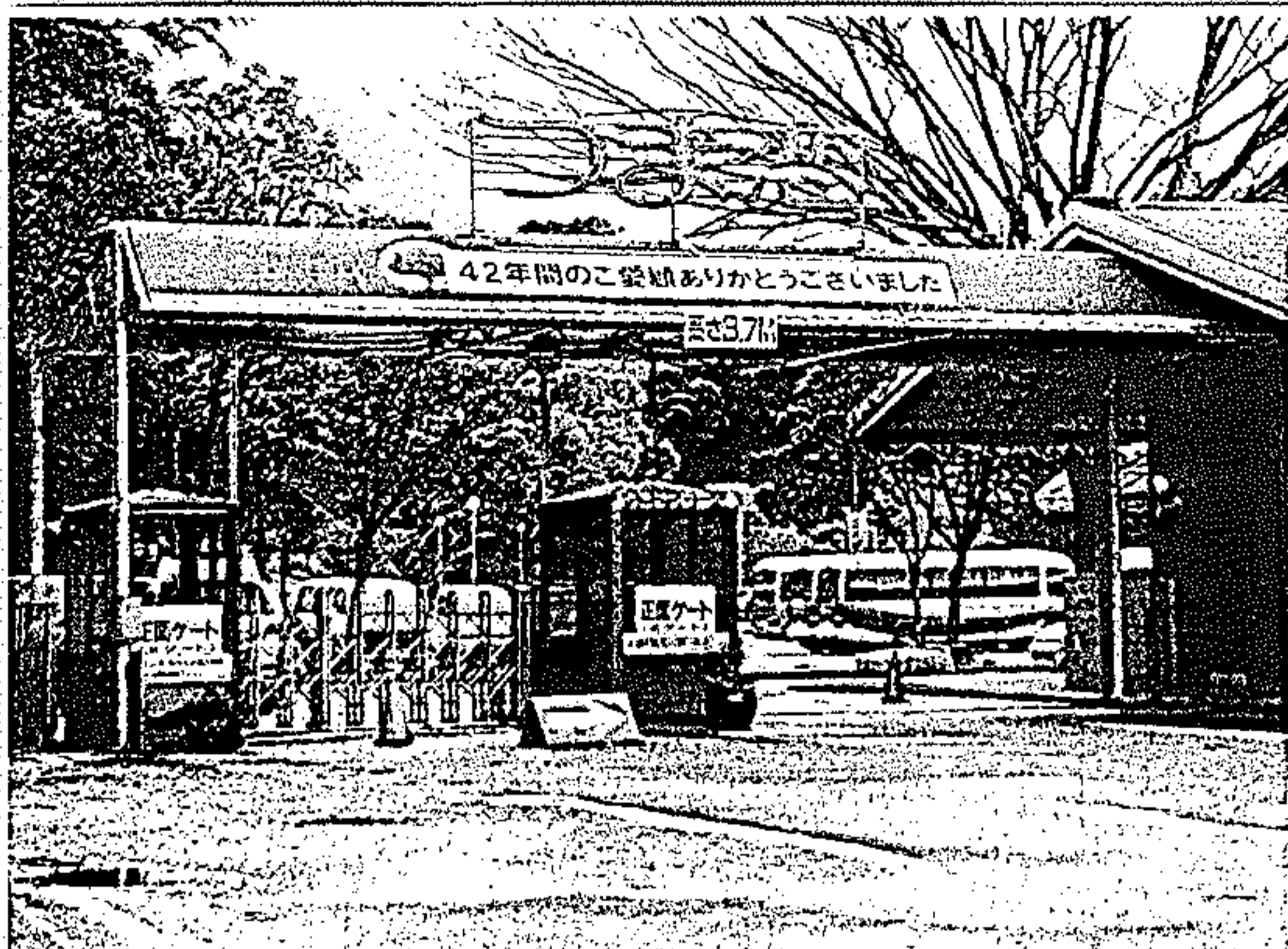
待ち望んできたことで大変うれしく思う。つま恋は掛川、県、日本の価値ある財産。譲渡を受ける会社がスポーツ、音楽の拠点として培ってきたつま恋の精神を引き継いで、さらに大きく飛躍してもらいたい。来年四月の掛川・新茶マラソンが、新しいつま恋のスタートとなるよう行政、市民が最大限バックアップして、今年でにない素晴らしい大会にしていきたい。

つま恋、HMIに譲渡

集客強化再出発

2ホテルと相乗効果

突然の営業終了発表から四カ月弱。ヤマハは「ヤマハリゾートつま恋」（掛川市）の譲渡先として、ホテル・リゾート施設の再建で定評のある「ホテルマネージメントインターナショナル」（HMIホテルグループ）を選んだ。これで来年四月以降の「閉園」の危機はなくなった。HMIがこれまで培ったノウハウを生かし、グループの相乗効果を発揮できるかが「つま恋」の再出発の鍵になりそうだ。（瀬戸勝之） 〇面参照



HMIに譲渡されることになった「ヤマハリゾートつま恋」の正面ゲート＝掛川市で

つま恋の主な出来事

77年	つま恋オープン
	第7回ポプコン(ポピュラーソングコンテスト、～86年)本選会を開催
78年	クイーン日本公演
	吉田拓郎&かぐや姫コンサート。オールナイトで6万5000人を動員
78年	南こうせつ「ビッグサマーコンサート」
88年	施設内でガス爆発事故発生、14人が死亡
91年	国内最大規模の乗馬施設をオープン
95年	Mr.Childrenコンサート。3万人動員
96年	サザンオールスターズコンサート。3万人動員
2003年	DREAMS COME TRUEコンサート。2日で4万人動員
05年	ap bank fes開催(～12年)。小林武史、櫻井和寿を中心とする「Bank Band」などが出演
06年	吉田拓郎&かぐや姫コンサート。3万5000人動員
11年	ポルノグラフィティコンサート。2日で5万人動員
16年9月2日	営業終了を発表
12月25日	一般営業終了。42年余の歴史に幕
27日	HMIへの譲渡発表
17年4月1日	「つま恋リゾート・彩の郷、」としてHMIが営業開始

九月以降の交渉では譲渡価格のほか、「音楽とスポーツ」をテーマにした総合リゾート施設の継続や一括譲渡することなどが条件に課された。交渉は難航したが、今月に入り三社から二社に絞り込まれ、最終的に地元の浜松市内の「ホテルクラウンパレス浜松」「グランドホテル浜松」の再建で実績があるHMIに白羽

の矢が立った。HMIの比良竜虎社長はインド出身で日本の国籍を取得。在日インド商工協会理事長を務める実業家だ。政財界の人脈と豊富な資金力を持ち、経営難に陥ったホテルやリゾート施設などを積極的に買収し、再建する手法で規模を拡大。二〇〇八年に日本郵政の宿泊・保養施設「かんぽの宿」の売却交渉、〇九年には長崎県佐世保市の「ハウステンボス」の支援で候補に浮上り、注目された。

同社の強みは、浜松市内の二つのホテルとの相乗効果を見込める点だ。首都圏と関西をつなぐ「ゴールデンルート」の中間点の県西部は外国人宿泊客数が増加傾向にあり、高い稼働率が

続く。つま恋はファミリー層が主体だが、外国人客の集客強化も図れる。企業の研修旅行や国際会議などの「MICE(マイス)」に伴う宿泊需要にも期待を寄せる。県西部ではスズキやヤマハ発動機など大手企業の拠点があり、グループ企業や取引先も集まる。MICEはヤマハが余力を入れてこなかった分野で、潜在需要を掘り起こすという。

つま恋の「顔」だったコンサート施設をはじめ、アーチェリー、乗馬などの施設も、そのまま引き継ぐが、リゾート施設運営で実績のあるHMIもこうした分野は初めてになる。ただ来年四月以降の事業計画は二月下旬に発表予定で「現時点で詳細は言えない」(広報担当者)という。

静岡経済研究所の富田洋一主任研究員は「つま恋は『フォークソングの聖地』など音楽の印象が強すぎて、スポーツ・レジャー施設として全国に知名度を浸透しきれなかった。宿泊以外にも、企業、学校のスポーツ大会や催事を開く『地域密着型』施設として地元と共生できるかが鍵になる」と指摘する。

静岡経済研究所の富田洋一主任研究員は「つま恋は『フォークソングの聖地』など音楽の印象が強すぎて、スポーツ・レジャー施設として全国に知名度を浸透しきれなかった。宿泊以外にも、企業、学校のスポーツ大会や催事を開く『地域密着型』施設として地元と共生できるかが鍵になる」と指摘する。

静岡経済研究所の富田洋一主任研究員は「つま恋は『フォークソングの聖地』など音楽の印象が強すぎて、スポーツ・レジャー施設として全国に知名度を浸透しきれなかった。宿泊以外にも、企業、学校のスポーツ大会や催事を開く『地域密着型』施設として地元と共生できるかが鍵になる」と指摘する。

静岡経済研究所の富田洋一主任研究員は「つま恋は『フォークソングの聖地』など音楽の印象が強すぎて、スポーツ・レジャー施設として全国に知名度を浸透しきれなかった。宿泊以外にも、企業、学校のスポーツ大会や催事を開く『地域密着型』施設として地元と共生できるかが鍵になる」と指摘する。

静岡経済研究所の富田洋一主任研究員は「つま恋は『フォークソングの聖地』など音楽の印象が強すぎて、スポーツ・レジャー施設として全国に知名度を浸透しきれなかった。宿泊以外にも、企業、学校のスポーツ大会や催事を開く『地域密着型』施設として地元と共生できるかが鍵になる」と指摘する。

「名前残りうれしい」

12/28中日

つま恋譲渡合意に従業員

掛川市のリゾート施設「つま恋」を名称も含めてHMIが引き継ぎ、存続することが明らかになった二十七日、開業から四十二年にわたり利用客をもてなしてきたコンシェルジュの伊藤えつ子さん(66)は報道陣の取材に「残してほしいとの声がいっぱいあったので、安心した」と表情を緩ませた。●面参照

つま恋は二十五日に、ヤマハの施設としての一般営業を終えたばかり。終了を惜しむ利用客たちからは「できるだけ豊かな自然を残し、今のまま進んでもらいたい」との要望があった



つま恋の存続が決まり、笑顔を見せる伊藤えつ子さん
=27日午後、掛川市満水で

と伊藤さん。「一人一人の家族に四十二年の物語がある。つま恋と言えはすぐに分かってもらえるので、名前が残るのはうれしい」と心境を語った。

譲渡先のHMIが営業を始めるのは来年四月一日の予定。伊藤さん自身は一足

先に退職するが「安心とにも、この先どうしようか考えている人も多いと思う」と、同僚らを気遣う一面も。「利用者としてこの地に来て、(同僚らが)再びスタッフとして働いているのを見ることができれば幸せ」と、四月以降を見

据えた。

二十七日午後には従業員らが集まり、ヤマハリゾートの安藤貞敏社長が譲渡に関して説明したという。同

社企画広報担当部長の堀内章弘さん(56)は「楽しく幸せな施設として、しっかりと継承してもらえたら」と願った。(久下悠一郎)

五輪合宿誘致へ掛川市

「最大の山越えた」

つま恋を想定して、ラグビー・ワールドカップ(W杯)のベースキャンプ地、東京五輪・パラリンピックの事前合宿地の誘致に手を

岡空港から見送ったばかりだった。

挙げていた掛川市の担当者は安堵の表情を見せた。

その後も国際的なスポーツ会議などで県とともにPR活動は続けてきたが、毎年春につま恋で開かれてきた、アーチェリーの全国高校選抜大会の会場が、来年は同市と袋井市にまたがる

小笠山総合運動公園(エコパ)に移るなど、先が見えない状態の中でもどかしさが募った。市内の施設を紹介するパンフレットのつま恋のコーナーも計画当初より縮小して掲載した。

HMIとの譲渡に関する基本合意の成立で、栗田課

長は「最大の山は越えた。今後も山あり、谷ありの交渉が続くと思うが、HMIと手を携えて誘致活動に取り組んでいきたい」と話した。(土屋祐二)

新茶マラソン 予定通り開催

来年4月9日

つま恋の譲渡に関する基本合意が成立したことを受け、つま恋を発着点にする「掛川・新茶マラソン」の開催可否について協議してきた実行委員会は二十七日、来年四月九日に予定通り開催することを正式決定した。

大会はつま恋の営業終了の発表に伴い実施が危ぶまれてきたが、今後はHMIとともに準備を進める。

新茶マラソンはフルマラソン、10キ、5キなど六種目があり、今年は市内外から約九千三百人が参加した。

名に「つま恋」歓迎

譲渡合意 各種キャンプ誘致に力

12/28 朝日

掛川市の「つま恋」は、親しまれた名前や施設を生かして再出発することになった。ヤマハ（浜松市）とホテルマネージメントインターナショナル（HMIホテルグループ、神戸市）が27日、譲渡に基本合意した。地元要望を踏まえた内容で、県や掛川市も評価している。

両社はこの日、それぞれ書面で基本合意を発表した。140万平方メートルの敷地と、ホテルやスポーツ施設、音楽施設などすべての建物、「つま恋」という商標をHMIに譲渡するとの内容。HMIは来年4月から既存施設と商標を生かし、「つま恋リゾート『彩の郷』」として新たに営業を開始。希望する従業員の再雇用にも応じるといふ。掛川市は譲渡に際し、①つま恋の役割や価値を存続させる運営形態の継続②分割譲渡はしない③つま恋の名前を残す——の3点を求めてきた。譲渡先選定はこ

の3点を基本条件とする入札方式で行われ、HMIが最優良だったという。売却価格はさらに精査する必要があり、未定としている。「全国でも浜松でも、HMIがホテルの再生を進めている実績を評価した」とヤマハは説明。一方、HMIは「つま恋の事業再建による地域経済の持続的発展のため、運営事業支援交付金など行政の支援を期待する」としている。HMIは2019年のラグビーW杯や20年の東京五輪のキャンプ誘致、掛川・新茶マラソンの開催などにも協力する方針。ヤマハは

9月、「設備が老朽化し、現状のままキャンプを誘致してもご迷惑をかける」と説明していたが、HMIは朝日新聞の取材に、「現状の施設を極力使うことを考

えたい」と答えた。また、「高級志向ではなく大衆的な料金設定を考えている」と話した。

合意を受け、掛川市の松井三郎市長は「要望が聞き入れられ、うれしく思う。つま恋は掛川市だけでなく、静岡県、日本の大きな財産。外国の人がどんどん来てくれるような国際的なリゾート施設になってほしい」と話した。川勝平太知事も定例会見で「（HMI

は）あちこちで成功されている。うれしいし、静岡県に投資をして下さるのはありがたい」と評価した。

「つま恋」では午後1時半、従業員約100人に、運営会社であるヤマハリゾートの安藤貞敏社長が合意成立を報告した。コンシェルジュの伊藤えつ子さん（61）は、「いつまでも愛さしい。『お帰りなさい』』行っでらっしゃい」と言

えるおもてなしを受け継いでほしい」と話した。

掛川・新茶マラソン実行委員会は27日、掛川市役所で委員会を開き、第12回大会を予定通りに来年4月9日、「つま恋」を主会場に開くことを決めた。

「音楽の聖地生かす」

HMIファンらほっと「安心」

12月28日 毎日

「つま恋」譲渡先決定

一般向け営業を25日に終了した「ヤマハリゾートつま恋」（掛川市滝水）の譲渡先が27日、ホテル運営会社「ホテルマネージメントインターナショナル」（HMI、神戸市）に決まった。「つま恋リゾート 彩の郷」の名称で来年4月に営業を再開する。「つま恋」の名称継続など掛川市やヤマハ側の要望も実現し、地元関係者や長年「ブォークソングの聖地」として親しんできたファンらは、一様に胸をなでおろした。【沢田均、舟津進、荒木涼子、井上知大】

ヤマハによると、つま恋は、来年3月31日ですべての事業運営を終えて土地・建物や商標をHMIに譲渡する。譲渡金額などは今後交渉を継続して決めるという。

ヤマハの中田卓世社長は「詳細の交渉はこれからだが、お客様に愛され続ける施設として『つま恋』の資産を引き継いでいただきたい」とコメント。HMI広報部は「リゾートと音楽の聖地という知名度を生かしながら経営していきたい」と話した。

HMIは全国で58のホテルや旅館、スポーツ・カルチャー施設を展開。経営難の既存ホテル再建などで実績があり、2014年2月には経営が悪化していたグランドホテル浜松（浜松市中区）の事業運営を継承。浜松駅前ホテルクラウンパレス浜松（旧浜松名鉄ホテル）も運営している。同部によると、2月下旬に来年以降の事業計画を発表する方針。「地元優先でお話しさせていたただきたい」として、アルバイトを含む従業員や、これまで取引していた地元企業との雇用や取引の継続などは年明けから調整するという。

つま恋は敷地面積140万平方メートル。ホテルやスポーツ施設などを備えた総合リゾート施設として1974年にオープンした。吉田拓郎さんら著名アーティストによる野外ステージや若手歌手の登竜門「ポピュラーソングコンテスト（ポポコン）」などの開催でも知られたが、近年は施設の老朽化やレジャーの多様化などで経営が悪化。ヤマハは今年9月、12月25日での一般営業終了を表明し、譲渡先を探していた。

掛川市の松井三郎市長は27日、報道陣の取材に「名称の継続使用や施設の一体利用などが盛り込まれているのはありがたい」と話す

一方、HMIには「つま恋精神をぜひ継承してほしい」と注文を付けた。つま恋をメイン会場とする来年4月の「掛川・新茶マラソン」

の開発については、HMI側と施設使用面での条件などを詰める意向を示した上で「新茶マラソンがニューつま恋のスタートとなるよう努めたい」と意欲を示した。

川勝平太知事も同日の定例記者会見で「東京五輪に向けて必要なスポーツ施設。良い形で継承できるのでうれしい。これまで以上に

発展すると期待している」と語った。

学生時代、プロを目指してポポコンの地方予選に出場したこともある、静岡市葵区のライフハウス「UHU」の中村信哉社長（57）は「つま恋は私の青春だし、自分たちの世代には大切な名前。施設が引き継がれ、名前も残ってくれて安心した」と喜んだ。

つま恋 来年4月再出発

ヤマハ HMIと基本合意

ヤマハは27日、「ヤマハリゾートつま恋」（掛川市清水）の譲渡先について、神戸市のホテル運営会社「ホテルマネージメントインターナショナル」（HMI）との間で不動産や「つま恋」商標の譲渡で基本合意したと発表した。「つま恋」が来年4月に再出発する見通しが立ったことで、地元関係者は一様に安堵している。

名称継承 ■ 施設一括譲渡

ヤマハによると、「つま恋」の名称継承や、土地（約140万平方メートル）とホテル

1974年 5月	つま恋オープン
1975年 8月	吉田拓郎&かぐや姫オールナイトコンサート（観客約6万5000人）
1975年10月	第10回ポピュラーソングコンテスト（ポップコン）本選会。中島みゆきが「時代」でグランプリ
1983年11月	敷地内の飲食施設でガス爆発事故。客と従業員計14人が死亡
1986年 9月	最終回となる第32回ポップコン本選会開催
2016年 9月 2日	ヤマハが営業終了を発表
2016年12月25日	つま恋一般営業終了

つま恋のこれまでの歩み

など全施設の一括譲渡を基本条件とし、購入予定額などを提示した複数の企業の中からHMIを選んだ。今後、HMIが施設の詳細な評価を行い、両社が購入額で合意した段階で正式な譲渡契約を締結する。

ヤマハは来年3月31日でつま恋の事業運営を終了し、同4月1日からはHMIが「つま恋リゾート 彩の郷」として営業する。HMIは事業計画などの詳細を2月下旬に公表する予定。

地元の掛川市は、つま恋を主会場とするマラソン大会の開催継続のほか、2019年のラグビー・ワールドカップ日本大会や20年の東京五輪・パラリンピックでつま恋へのキャンプ誘致

を目指してきた。HMIはこうした要請に配慮し、協力する方針を示している。

HMIの広報担当者は27日、読売新聞の取材に対し、「つま恋の施設を使って「再生に向けて取り組む」と説明した。訪日外国人客や企業研修を誘致するほか、乗

馬などのスポーツ施設を活用した学生合宿の誘致を強化する方針だという。

一方、掛川市の松井三郎市長は同日、これまで要請してきた「つま恋」の名称継承などが基本合意に盛り込まれた点を評価し、「正式契約が締結され、つま恋

1/28 読売

が世界の人を訪れる国際リゾート施設に飛躍することを目指す」と述べた。

25日に一般営業が終了したつま恋の関係者も、基本合意を歓迎した。コンシェルジュの伊藤えつ子さん（61）は「どうなるのか心配だったが、安心した。年明けに退職するが、4月に客として訪れ、新たなスタートを見届けたい」とほっとした表情を見せた。

運営会社「ヤマハリゾート」の堀内章弘・企画広報担当部長（58）は「お客さまのためにも良かった。今後、みなさんが楽しく、幸せになる施設であり続けてほしい」と話した。

つま恋、ホテルグループに譲渡

知事「いい形で継承」

12/28 経産

一般営業を終了した「ヤマハリゾートつま恋」（掛川市満水）を、運営会社のヤマハが「ホテルマネージメントインターナショナル」（HMIホテルグループ、神戸市）に譲渡することで基本合意したことで、交渉の行方をやきもきしながら見守った関係者間に安堵の声が広がった。

譲渡先のHMIは、業績不振のホテルを再建する手法で規模を拡大。掛川市が目指す2020年東京五輪・パラリンピックのキャンプ誘致や、毎年の市民マラソンでも「つま恋」を会場とする従来の方針を引き継ぐ。従業員の雇用も継続する考えで、同社は「地域経済の発展に貢献できるように努力する」とコメントした。

川勝平太知事は「最高の方、素晴らしい方だ。こういう方が静岡に投資をしてくれるのはうれしい」と歓迎。「いい形で継承できることを喜んでいる。これまでも以上の『つま恋』になるのではないかと期待した。また、譲渡先選定にあたり▽運営形態の継続▽分割譲渡しない▽「つま恋」の名称を残す—の3点を要望していた掛川市の松井三郎市長は、「この3点の実現に向けた一歩が踏み出されたことを大変うれしく思

う。『つま恋』が国際リゾート施設となり、市のさらなる発展につながることを期待する」とのコメントを出した。

「つま恋」は昭和49年の開業以降、歌手の吉田拓郎さんがコンサートを開催するなど「フォークソングの聖地」として親しまれた。